

平成 27 年度、平成 28 年度入学者

平成 28 年 10 月 25 日
教養学部 前期課程

『履修の手引き』 記載内容の変更について

平成 29 年 4 月より、平成 27 年 4 月及び平成 28 年 4 月『履修の手引き』記載内容のうち下記の点
変更となります。

記

1. 総合科目の構成及び授業内容概要（『履修の手引き』 pp. 65~80（平成 27 年 4 月）、pp.68~pp.83（平成 28 年 4 月））

総合科目について、3 科目が新設されるとともに、対象年次、開講予定セメスター・タームまたは単位数が変更される科目があります。また、1 科目は平成 29 年度のみ不開講となります。詳細は下表のとおりです。（下線部が変更点）

区分	系列	大科目名	科目名	科目の授業内容	開講予定 セメスター・ターム	単 位 数
変更	A	言語とテク ストの科学	外国文学	(変更なし・省略)	<u>S/A</u>	2
不開講	C	相関社会科 学	相関社会科学	(変更なし・省略)	S/A <u>平成 29 年度 は不開講</u>	2
変更	C	教育科学	高等教育論入門	学生にとって最も身近な組織である大学について基本的な知識を学び、その理解を深めつつ、大学とは何か、大学で何を学ぶのかを受講生が考える契機を提供する。 【1 年生対象】	A1 (1 年次)	<u>1</u>
変更	D	医学・健康科 学	看護学概論 <u>I</u> (注 1)	(変更なし・省略)	S	2
新設	D	医学・健康科 学	<u>看護学概論 II</u>	<u>看護学は、あらゆる年代の個人、集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和等を支援する科学である。</u> <u>本講義では、保健・医療・福祉の分野において社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルが実際の活動を紹介します。</u>	<u>A</u>	<u>2</u>
変更	E	物質科学	有機反応化学	主に有機化学を題材にして、基本的な化学反応の機構などについて論ずる。 【 <u>1 年生対象</u> ・理科生はクラス指定】	S (<u>1 年次</u>) (注 2)	2

新設	F	数理科学	統計データ解析Ⅰ	統計ソフトウェアを用いたデータ解析実習によって統計手法の運用とデータハンドリングの方法を習得する。さらに、微分積分学、線型代数学等の前期課程で学ぶ数学との連携によって、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得することを目標とする。	<u>A</u>	<u>2</u>
新設	F	数理科学	統計データ解析Ⅱ	統計ソフトウェアRの復習の後、高次元大規模データに潜む相関構造を発見し計量する多変量解析、および時系列データの基本的な解析法を学ぶ。統計手法の運用とデータハンドリングを実習することに加え、微分積分学、線型代数学等の前期課程で学ぶ数学と連携し、数理科学的側面を意識しながら、実験を介して統計手法の合理性と体系を感得する。	<u>S</u>	<u>2</u>

(注1) 総合科目D系列「看護学概論」は、「看護学概論Ⅰ」に名称が変更される。平成28年度以前に「看護学概論」を履修し単位を取得した者が、「看護学概論Ⅰ」を履修することは認められない。なお、平成28年度以前に履修した「看護学概論」については、「看護学概論Ⅰ」として成績表に記載される。

(注2) 平成29年度より、平成27年度入学者、平成28年度入学者ともに、2年次での履修が可能となる。

以 上